
IS Ein anderer Fl?gel

緋星

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS E i n a n d e r e r F l ? g e l

【Nコード】

N 4 2 3 2 B A

【作者名】

緋星

【あらすじ】

ただ護りたかった、救いたかった・・・だから全力で駆け抜け、全力で戦った。少年、黒瀬零司は様々な人間・・・そして戦友達。彼らは何を見て、何を感じ、何を思ったのか。そう、これは四年前から始まる、とある英雄のお話。

この話は『IS もう一つの翼』における主人公、黒瀬零司の過去に当たる話です。出来れば『IS もう一つの翼』を読んでいる読者の方が楽しめると思いますので、先にそちらを読んでからを

お勧めします。あと根本的に学園メンバーは出て来ません（ここ重要）。ですので、原作の学園ストーリーが楽しみたい人はこれを読まずにいいかもしれません。

EPPO prologue (前書き)

さてさて、ついに始まってしまいました『IS もう一つの翼』の過去編。もうどうなるかわかったもんじやないですが、出来れば最後までお付き合い願いたいですm(____)m。では、前置きが長くなってもアレですので、さっそくどうぞ。

E P O prologue

晴天。青々とした空の下で世界的に存在を認められた一つの小島。そこに建設された学園。それがIS学園。

その学園の中庭に位置する場所に一人の男子が居た。この世界の人間ならば今の説明に首を傾げるところだろう。普通、ISは男性には操作できないものであり、それはこの世界の常識だった。しかし彼はその常識の枠の外にいる存在・・・イレギュラーだった。

だがそれ以上に異質なモノが感じられる。彼は男子と言うには・・・少年と言うには少々大人び過ぎている風貌が在る。発せられる雰囲気も、何処か遠くを見る様な瞳も、ただの学生がすべきものではない。

十八年、彼が生きた期間である。だが彼が十八歳の青年だとはどうも考え辛い。いや、見てくれは十八歳に見えるかもしれないが・・・素人目に見ても何かおかしいと少なからず感じるだろう。

異質、まるで別世界の人間だった。

それを普段は隠して、彼は学園での生活を送っていた。だが今はそれが無い。覆い隠しているヴェールは剥がれ、本来の彼が出ているのかもしれない。

「・・・ふう」

息を吐き、彼は近くにあった大きめの樹木に寄りかかると腰を下ろした。彼は思う。この学園に来てからというものの、過去の遺物達に

出会い過ぎたのかもしれない、と。その為だろうか。時折、自分の頭が過去の状態に戻る時が在る。

その度に嫌悪感に見舞われる。それはどんなに振り払おうとしてもまるで粘着物の様にへばりつき、彼の意識を底なし沼へと沈んで行く。恐ろしく、狂氣的で、破滅的に駆けていた過去の自分。それが無くなる事は無いと教えている。

学園に入ったばかりの時、彼がこんな事を想像していただろうか。否、しているわけがない。新たな未来が在ると願い、次へと進めると思い、この場所に来た。

それなのに・・・

「なんだか・・・ちょっと疲れたな」

誰に言うでもなく、呟くと頭の中にゆっくりと靄がかかり始める。全身の力が抜け、手が地面の芝へと落ちる。酷く眠い。もうすぐ寮に戻らなければいけない。皆に心配をかけてしまっただろう。だが彼は逆らう事無く落ちて来る瞼を閉じる。

そして黒翼の騎士は夢を見る

それは過去の記憶

共に戦場を駆け抜けた、戦友達の夢

少し気恥ずかしそうに少女は笑顔を浮かべながら言う。

私はあなたの笑顔を守る為に

三つ綱の金髪を揺らして、女性は堅牢な表情を崩して言う。

私はあなたの信頼を裏切らぬ為に

顔を隠した黒髪の間からこちらを見上げながら、少女は言う

私はあなたの側にいられる理由を得る為に

剣を携え、胸に手を当てると忠誠を誓う様に女性は言う。

私はあなたの望む未来の為に

右目の眼帯を擦りながら、躊躇いがちに女性は言う。

私はあなたの先を見据える為に

少しずれた帽子の下で、無邪気に笑う少女は言う

私はあなたの望む存在になる為に

褐色肌の頬を緩めて、笑みを浮かべる少女は言う

私はあなたと共に戦う為に

自身に言い聞かせるように手袋に包まれた手を握りしめて少女は言う

私はあなたの世界を照らす為に

彼への信頼と自身の決意を抱いて、影となっていた少女は言う。

私はあなたと共に生きる為に

瞳を閉じて、自分の全てを打ち明ける様に白い乙女は言う

私はただ、ただ君の為に

そして最後に、隣に立つ黒髪の少女は彼を見て微笑む。

愛している、零司・・・何よりも、誰よりも

黒い瞳の少女、その儂くも強い笑顔。そしてそれに連なる様に笑う、
美しき戦友達。ヴァルキユリア彼と共に戦い、救い、思い出しながら、彼は深いま
どろみへとその身を投じる。その瞬間、風がふわりと前髪を撫でた。
それはまるで彼を・・・そして彼、黒瀬零司が愛した彼女の様に温
かく、優しい風だった。

物語

これはたった一人の英雄の敗北への

E P O prologue (後書き)

さっそくどつぞ、と言っておきながらプロローグだけなんですけどね(^ ^ ;)。

えー、この話の始まりに関しては原作でちよくちよく語られている零司君が軍属だった頃の話、千冬さんがドイツの研究所から助け出し、それから一年後となっております。ですので、千冬さんと零司の関係の話はありません。本当に学園メンバーが出てこない話となっております。

根本的に全てがオリジナルストーリーであり、にわかな軍事ネタがちよくちよく出て来てしまいかもしれませんが、笑って許してください。

あと、原作の『もう一つの翼』におけるネタばれなどが出て来てしまう恐れがある為にあちらの物語の進行で「あ、じゃあこの話はオツケーだな」という感じで更新するので、そこら辺はご了承下さい。

次回の更新はいつになるかわかりませんが、どうか長い目で見てやって下さい。

それでは、また(^ ^)ノシ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4232ba/>

IS Ein anderer FI?gel

2012年1月11日05時03分発行